JENESYS2015

JENESYS2015（招へいプログラム）
（対象国:カンボジア,テーマ:(文化)文化芸術交流/（技術）農業交流）の記録

１．プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、カンボジアより音楽・舞踏、農業に関心を有する高校生、大学生・大学院生 38 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2 月 16 日から 2 月 23 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

２．参加国・人数

カンボジア 38 名

３．訪問地

東京都（全員）、奈良県・京都府（19 名）、愛知県（19 名）

４．日程

2 月 16 日（火）　成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

2 月 17 日（水）　【日本理解講義】SIMA 国際経営研究所　所長　木村秀夫様
1. 文化グループ　【歴史文化視察】江戸東京博物館、浅草寺
2. 技術グループ　【最先端技術視察】日本科学未来館、【歴史文化視察】浅草寺

2 月 18 日（木）～2 月 21 日（日）　2 つのグループに分かれ、各地方を訪問
1. 文化グループ：奈良県・京都府
【視察】東大寺大仏殿拝観、東向き商店街・餅井殿通り・下御門通り、
奈良国立博物館
【地方自治体講義】奈良県庁、【学校交流】同志社大学
【ホームステイ】、【ワークショップ（報告会準備）】

2. 技術グループ：愛知県
【最先端技術視察】愛知県農業総合試験場　東三河農業研究所
【地方自治体講義】愛知県庁農林水産部、【学校交流】星城大学
【ホームステイ】、【ワークショップ（報告会準備）】

2 月 22 日（月）地方プログラム終了後、東京へ移動
報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

2 月 23 日（火）　成田国際空港より出国

５．プログラム記録写真

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2/17 【歴史文化視察】浅草(東京都)</td><td>2/18【視察】 東大寺大仏殿拝観（奈良市）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2/18【地方自治体講義】愛知県庁農林水産部(名古屋市)</td><td>2/19【最先端技術視察】愛知県農業総合試験場 東三河農業研究所(愛知県豊橋市)</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2/19【学校交流】同志社大学（京都市）</td><td>2/22 報告会（千葉県浦安市）</td></tr>
</table>

６．参加者の感想

◆ カンボジア　学生

私達のグループ全員にとって、日本訪問は初めてでした。日本は都内、地方を問わず、科学技術が発展していることを実感し、訪問先などで私が観察している限り、日本は、全ての分野が発展していると感じました。同時に伝統文化が大切に継承されていることに気づきました。例として取り上げれば、各博物館の中で有名な伝統工芸品などが展示されていました。これらのことについて心から尊敬の意を表します。私自身を含め、カンボジアの人々は、日本の製品が、日常生活用品、電気・電子製品を問わず、大変丈夫で品質が良いと考えています。ただ、日本人にとっては普通かもしれませんが、私にとって日本で販売されている製品が高いと感じました。交通などのインフラが整備され、渋滞もなく、人々は譲り合って運転していました。日本は、アジア大陸の中で素晴らしい社会を有する国であり、飛躍的に発展していることを実感しました。

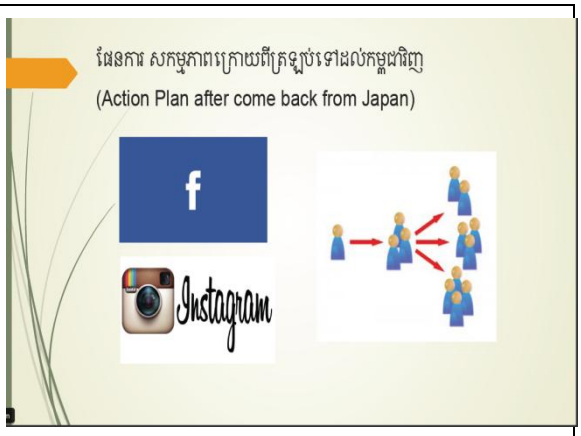
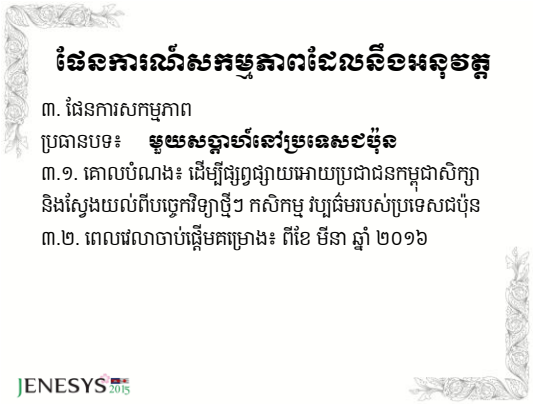
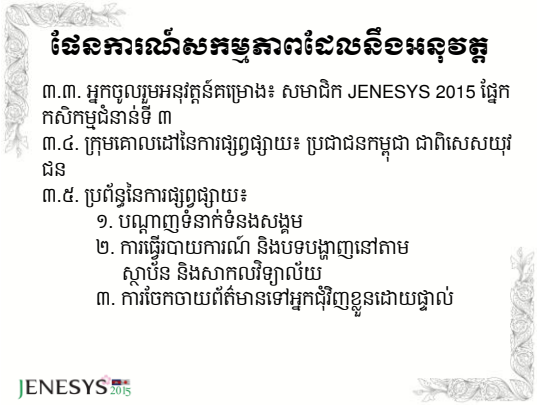
◆ カンボジア　学生

訪日プログラムではワークショップや様々な体験、日本の有名な地域の訪問、そして木村秀夫先生による「今日の日本」の講義を通じて日本に非常に関心を持ちました。科学未来館を見学して日本の現在の先端技術や未来に向けての計画などを理解することができました。そして名古屋市にある愛知県庁への表敬訪問で愛知県について詳しく理解できるようになりました。日本では全ての職業、特に工場、企業、病院、スーパーマーケット、公共施設や住宅などに最新の技術が取り入れられ、日常生活を便利にしています。日本人にとって時間厳守がとても大切で、私も考えなければならいことだと思います。日本の農業は非常に発展しています。愛知県総合農業試験場での視察では新しい品種や厳しい環境に対応できる品種の改良の研究に興味深く、もっと研究して発信していきたいと思います。日本人は礼儀が正しくて非常に素晴らしかったです。日本人のホストファミリーに温かく歓迎していただき、日本人への理解が深まりました。是非見本にしたいと思います。そして、国産品が支持されることは日本の農家にとって重要です。国産農作物は無農薬が標準になりつつあります。　日本の農場を見学して学んだことを、カンボジアの農家や地域の人々へ伝達したいと思います。

◆ カンボジア　学生

来日する前に日本は先端技術を持っている国だと認識していましたが、来日して日本の農業も発展していることに驚きました。　日本人は秩序が正しくてお互いに尊重しあっていると思いました。日本では災害が多いですが、インフラも非常に整っています。カンボジアにない素晴らしい道路、橋、ビルディングや公共運送サービスがあります。日本人のおもてなしは私にとって来日した初日から心が温かく感じました。　日本についての概要講義では、講師の先生から多くの知識を得る事が出来ました。　愛知県表敬訪問では、県庁職員の説明を通じて愛知県や日本全体の農業の強みについての情報も得ました。　そして愛知県総合農業試験場では、日本の農業の取り組みや技術、例えば種子の選抜から包装までを見ることができました。星城大学では日本の学生と交流して、一番印象に残っているのは書道の時間でした。そして、忘れることができない体験は日本人宅でのホームステイです。日本人の生活をより理解できたからです。私たちは寝食を共にし、一緒に散策に出かけ、お互いの言語を教え合い過ごしました。

７．報告会での報告内容（日本での気づき・帰国後の発信計画）

<table>
<tr><td>
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>参加者の報告会での報告内容（来日中の気づき）</td><td>参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）</td><td>参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）</td></tr>
</table>